

# オープンキャンパス 2015 実施報告

豊坂 祐樹  
Yuki TOYOSAKA

九州産業大学 情報科学部 情報科学科  
Department of Information Science, Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University  
toyosaka@is.kyusan-u.ac.jp

## 1. はじめに

本稿は、2015年度オープンキャンパスにおける情報科学部の取り組みを報告する。本報告では、2015年度の第1回オープンキャンパスの概要の報告を行ったのち、2015年度の第2回オープンキャンパスの詳細について報告する。具体的には研究室の紹介、来場者の集計、まとめなどについて紹介する。

## 2. 第1回オープンキャンパス 2015 の報告

第1回オープンキャンパス 2015 には、12 の研究室と情報システム研究会が参加した。来場者は 338 名であった。台風の接近などもあり、総合受付での来場者数は前年度の第1回オープンキャンパス 2014 の来場者数 365 名と比べると若干減少している。しかし、保護者の来場者数においては過去最高の 72 名を記録していることから情報科学部への進学をより意識していることが伺える。

## 3. 第2回オープンキャンパス 2015 の報告

第2回オープンキャンパス 2015 には、12 の研究室と情報システム研究会が参加した。12号館1階で各研究室やシステム研究会による12のブースが展示され(図1)、2号館でも1つのブースが展示された。オープンキャンパスに参加した情報科学部の学生たちは、来場した高校生や保護者に対して懇切丁寧に展示物等の説明をしていた(図2)。

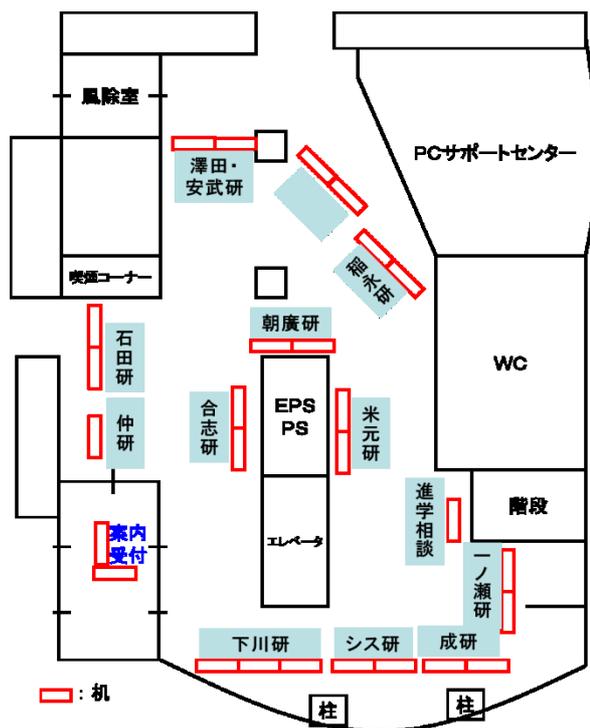


図1 12号館1階イベント・展示配置

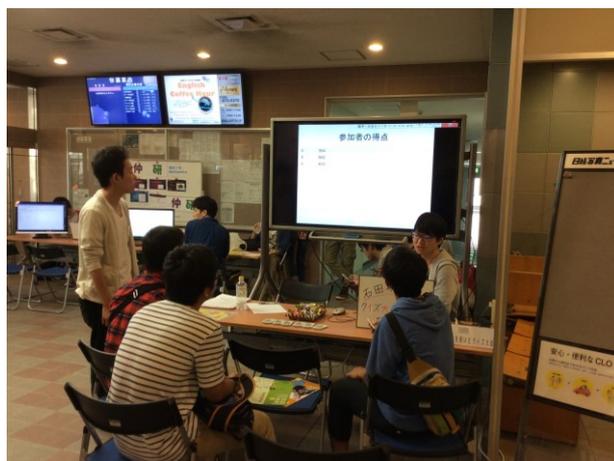


図2 オープンキャンパスの風景

#### 4. 情報科学部体験イベント・研究室紹介

第2回オープンキャンパス2015に出展したイベントのテーマを紹介する(表1)。この他にも、大学生や事務室の方が総合受付を担当し、学部教員が進学相談を担当した。

12号館以外にも、田中研究室による「Pepperで遊ぼう」の展示を2号館にて行った(図3)。実際にPepperとふれあい、会話することが可能なため高校生たちが多少恥ずかしがりながらも会話を試みる場面も見られた。

12号館の展示ではゲーム感覚で楽しめる合志研究室の「安全運転教育のためのドライビングシミュレータ」や情報科学部の学生たちがどのような勉強をしているかを肌で感じることができる成研究室の「楽しいWebプログラミングを体験しよう」など、情報科学部らしい特色を備えたアプリを実際に触れて体験できるブース(図4)やプログラムの作成が体験できるブースが多く並んでいた。



図3 Pepper 動作風景



図4 各研究室の展示を体験する高校生達

表1 イベントとテーマ名

出展団体名	出展テーマ名
朝廣研	見て楽しむコンピュータサイエンス
石田研	クリッカーを用いた情報科学部検定
一ノ瀬研	Kinectで遊ぼう
合志研	画像処理による足型測定装置 安全運転教育のためのドライビングシミュレータ 安全運転管理教育システム ASSIST
下川研	夢を繋ぐインターネット
成研	楽しいWebプログラミングを体験しよう
田中研	Pepperと遊ぼう(2号館総合受付)
仲研	数学ソフトウェア Mathematica で遊んでみよう
米元研	お絵かきアプリで遊んでみよう
稲永研	企業と“コラボ”ってる授業ってどんな感じ? 福岡県遠賀郡芦屋町コミュニティバスの利用状況調査による地域貢献
澤田研・安武研	ロボコン出場チームによるライトレースロボットの紹介
情報システム研究会	ゲーム勉強会「Unityで迷路ゲーム」

#### 5. 模擬講義

12号館12105教室にて、成先生による「データマイニングとその応用～ビッグデータの秘密～」の模擬講義が行われた(図5)。模擬講義の参加者は保護者も含め、25名であった。今回は、データマイニングに関する講義を行った。近年、インターネットの普及でブログや動画サイト、FacebookやTwitterなどのSNS利用者が増加し、それらに投稿される膨大なデ

ータが蓄積され、ビッグデータと呼ばれるようになった。このビッグデータを容易にかつ迅速に分析可能な技術が開発されたことにより、これまで予想できなかった新たなパターンやルールを発見してビジネスに役立てようという動きが企業でも強まっている。本模擬講義では、それらの点を高校生に知ってもらうため、情報・データ・ビッグデータ、データマイニングとその応用、相関ルールマイニング、それらが実際に企業に使用された分析例を紹介した。また、相関ルールマイニングの演習を行うことで、情報処理の手法を体験してもらった。



図 5 模擬授業の様子

## 6. 集計

2013年第2回から2015年第2回までの来場者数の集計を図6に示す。今年度のオープンキャンパスは、総合受付での来場者数が去年と比べて、104名から140名へとかなり増加している。それに伴い、保護者の来場者数も増加しており、進路相談などで先生方へ大学に関して熱心に質問する保護者の姿も見えた。イベント参加者数も340名にのぼり、去年より増加傾向にあることから、情報科学部に関心のある高校生が増えてきたことが分かる。

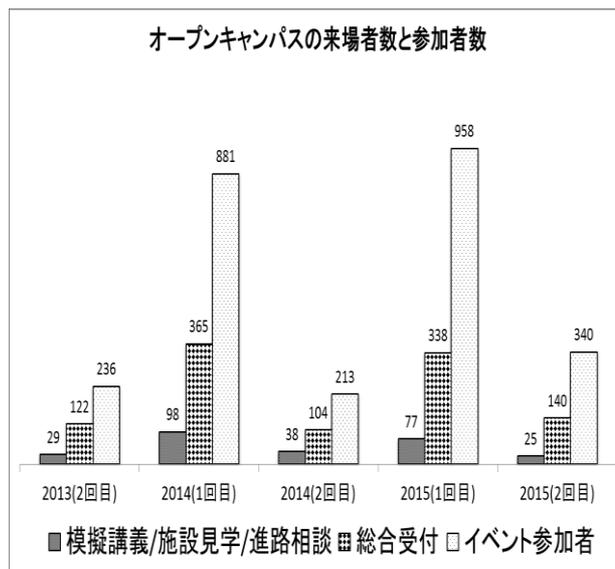


図 6 オープンキャンパス来場者とイベント参加者数

## 7. まとめ

第2回オープンキャンパス2015では多くの在学生、先生方、学務事務室の方々の積極的な協力により、活気のあるオープンキャンパスを開催することが出来た。特に3,4年生は自らの学業や卒業研究の合間を縫って準備に取り組んでくれたので感謝の意を表したい。

今後も、学部全体でオープンキャンパスに取り組んでいきたい。